

NADPZ NEWLETTER



「2023 自然農法ショーのハイライト: 伝統とコミュニティの祭典」

7月と8月は、待望の2023年自然農法ショーの開催に向けて献身的な女性たちが精力的に働き、熱心な準備が行われた。2006年に始まったこの年次イベントは、自然農法実施メンバーが自然農法の原則についてより広範な地域の人たちと交流し、教育し、啓発するための場として機能している。また、ダンス、音楽、料理を紹介し、活気に満ちた伝統文化を満喫する機会にもなっている。

今年のショーを組織する責任は、ムババラ地区女性農民組合のリーダーとさまざまな女性農民クラブの有能な肩にかかっていた。このイベントには、マンボ地区、カシヤ地区、デム地区からなるペンバ区農民組合だけでなく、チカンタ地域の組合員も参加した。

今年のショーの心温まる側面は、プロジェクト創設期に中心的な役割を果たした先駆者たちが積極的に参加したことだった。初代統合組合長のライザ・チュマや初代統合組合書記のアーロン・チレシエなどの元指導者らがショーに出席し、組合員として、またその経験を活かして貢献してくれた。彼らは、プロジェクトの推進に貴重な政府の地域開発基金を利用する手法も惜しみなく共有してくれた。



今年のイベントの主賓は、酋長の管轄地域（ザンビアの伝統的統治機関）におけるすべての組合活動の監督責任を負う酋長の代理人でした。同氏は挨拶の中で、過去20年にわたる秀明インターナショナルへの揺るぎない支援に感謝の意を表した。また同氏は地域内で皆が協力して努力することの重要性を強調し、女性たちに対してあらゆるプロジェクトを開始するために自分の時間とエネルギーを捧げることを促し、そのことは自分たち自身を力づけ、地域開発だけでなくそれぞれの家庭内での経済環境の向上にもつながるのだと説いた。

予測不可能な雨季にもかかわらず、農家は自然農法のトウモロコシ、落花生、キャッサバ、乾燥野菜、サツマイモなどの豊かな作物を展示していた。特に、女性たちは秀明インターナショナルから寄付されたミシンを使用して衣服を作り、縫製技術を誇らしげに披露していた。

開会式は、楽しい歌と踊りを特徴とする活気に満ちた伝統のダンスから始まった。また、イベントに華を添えた秀明青年部員3名を歓迎する機会でもあった。彼女たちは、ザンビアのチテンゲ生地を使用して日本の伝統的な着物とチャイナドレスの衣装を着て登場し、ザンビアと日本の印象的な融合作品を披露してくれた。

このイベントには何百人もの子供たちや若者が熱心に参加し、コミュニティ内の人口動態の変化を示唆していた。この変化はまた、次世代の農民への道を切り開く若者主導の農業コミュニティプロジェクトを開始することの必要性を強調していた。

以下の 2023 自然農法ショーの写真をお楽しみください。この次は2025 年版でお会いできることを楽しみにしています。そこでも、伝統、コミュニティ、自然農法の原則を引き続き称賛していきます。

2025 年も忘れられないお祝いに参加して下さい。





「長年にわたる献身的な努力を称える: 成功事例」

タンダ・ブチエ組合のサリヤ・ムーノさんを紹介いたします。彼女は、元気いっぱいの 78 歳だった 2003 年にムババラ女性農民組合との歩みを始めた注目すべき女性です。98 歳になった現在も、彼女は活動的で献身的な会員であり、自然農法の力とそれが彼女の人生に与えた深い影響に対する信念は揺るぎません。

サリヤさんの農民組合への取り組みは本当に感動的です。組合の女性メンバーたちは、高齢であることを心配して今年のショーには参加しないよう勧めましたが、サリヤさんは、このショーには何としても参加したいと思った。彼女は、今年のイベントが参加できる最後の機会になるかもしれないと感じていた。彼女が参加した動機は、人生の節目に別れを告げるだけでなく、アラン・今井氏に会い、彼から教わったことに対する感謝の気持ちを伝えることでした。

サリヤさんは、感動的な態度で、自然農法の遺産を象徴的に伝えるためにこの機会を選んだ。彼女は 58 歳の娘に、この伝統を継続し、孫たちにその価値観を教え込む責任を託した。この世代継承の行為は、持続可能性、コミュニティ、そして地球と将来の世代を育成するという、農民組合の取り組みが象徴するものの本質を体現しています。



サリヤさん、私たちはあなたの数十年にわたる揺るぎない献身とたゆまぬ励ましに敬意を表します。あなたの物語は、自然農法の永続的な影響とそれを伝承する人々の不屈の精神の証拠として伝えられていくことでしょう。

私たちの自然農法チームの紹介



私たちの自然農法プロジェクトサイトの根幹を成す注目に値する人々を紹介します。2015 年以来、この卓越したチームは精力的かつ情熱的にプロジェクト現場の世話をしており、豪華な 5 つ星ホテルにも匹敵する献身的なサービスを提供しています。

卓越性という遺産: この献身的なグループは 8 年間にわたり、自然農法プロジェクトサイトを管理し、卓越した成果を残している。私たちの使命に対する彼らの揺るぎない献身が、私たちの継続的な成功の原動力となっている。

温かい歓迎: あなたがお客様、組合メンバー、または単に好奇心旺盛な訪問者であっても、私たちのチームは、この場所を訪れるすべての人を温かく心から歓迎します。あなたが到着した瞬間から、彼らはあなたの経験が素晴らしいものになるよう準備を整えています。



さらに一步を踏み出す: 私たちの自然農法チームを際立たせているのは、完璧さへの絶え間ない追求です。彼らはお客様のニーズを先取りし、比類のないサービスを提供し、お客様の訪問のあらゆる面がスムーズであることを保証することに誇りを持っています。彼らの献身は責務を超えて、お客様の健康と快適さが最優先事項なのです。

感謝の意を表す: この素晴らしいチームに心からの感謝の意を表したいと思う。彼らの勤勉さ、揺るぎない献身、そして自然農法プロジェクトへの取り組みにより、私たちは今日の成果を収めることができたといえる。彼らの情熱はあらゆる交流の中に輝き、私たちのプロジェクトサイトは単なる目的地ではなく、温かく居心地の良い家となっている。

本質的に、自然農法チームは私たちのプロジェクトの心臓部であり、彼らの継続的な献身に限りなく感謝している。



さらに、地区委員長と同行の代表団は、秀明だけでなく、より広い地域社会、献身的な教職員、そして保護者と教師の会との協力的な取り組みを促進することに熱意を表明した。彼らの共通の目標は、この学校を卓越した教育機関に育てることです。

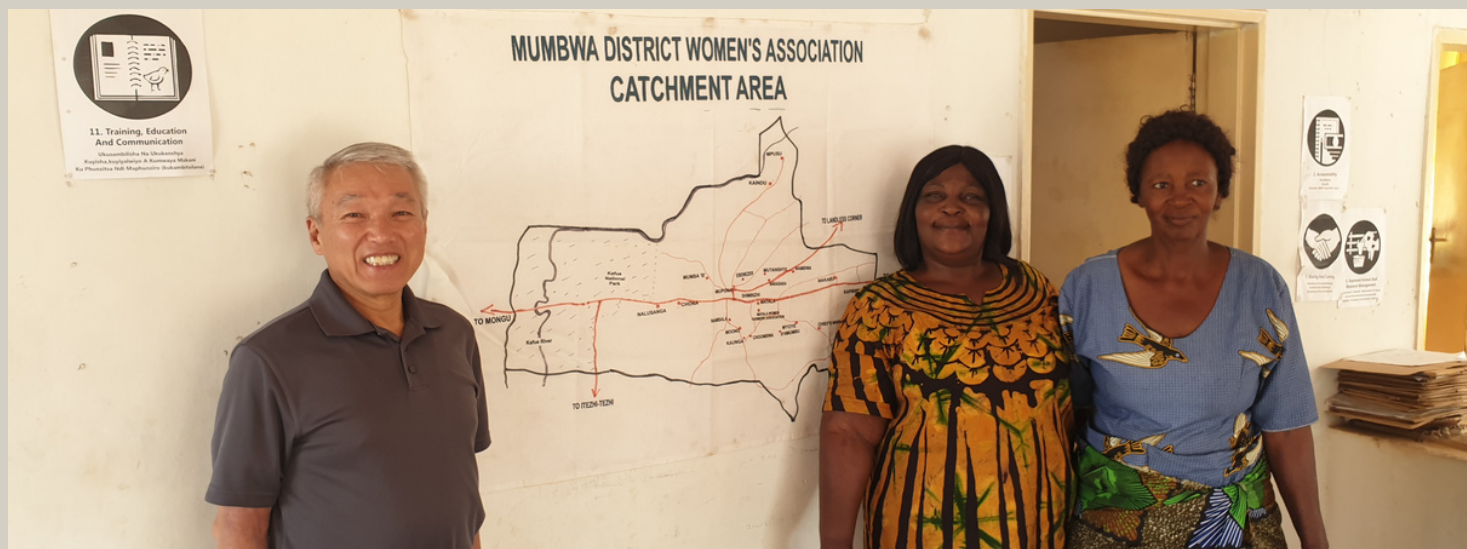
この夢のある旅に乗り出すにあたり、私たちはペンバ区マンボ地区の数え切れないほどの子供たちの生活を形成し続けるであろう将来の協力関係を楽しみにしている。私たちは教育の力を通じて、より明るく豊かな未来への道を共に切り開いていきます。

「教育を通じて未来に力を与える：成長とパートナーシップの物語」

2022年12月、秀明インターナショナルはマウOFFA農民組合に提供した寄付金を通して、教育に対する揺るぎない決意を示した。それはマウOFFA・コミュニティ・スクールの規模拡大において極めて重要な意味を持つ瞬間だった。2015年に教室が2つの小さな学校として始まり、その後大きく進化し、2018年には教室が2つ追加された。そしてこの度、安全な倉庫を備えた新しい教室が2つ建設され、学校の設備がさらに強化された。

2023年8月20日、アラン今井氏と地区委員長オベイ・ハベンズ氏が、新しく造られた2つの教室の開所式を行った。これらの新たな教室の追加は、増加する生徒数、特に5年生と6年生の生徒に対応する上で重要な役割を果たすことになる。落成式の際、地区委員長は、コミュニティスクールの建設と支援における秀明の貢献に心からの感謝の意を表した。同氏はまた、学校の拡張と（政府認可の）試験センターへの進化を促進するための継続的な支援を約束した。新しい教室に安全な倉庫を設置することで、試験用紙の安全な保管が保証され、教育における誠実性を維持するという学校の取り組みを強く示していた。





「ムンブワ拡張物語: 自然農法を通じたエンパワーメントの旅」



昨年、私たちの自然農法トレーニングチームは中央地方ムンブワ区への変革の旅に乗り出した。彼らの使命は、ムンブワ区女性協会と協力し、自然農法の世界を紹介することだった。昨年このトレーニングのハイライトをニュースレターで紹介しましたが、今回このパートナーシップがどのように実現したかについてお話しできることを嬉しく思います。



私たちの献身的な世話役であるメシー・ムロタは、首都ルサカで開催された女性の農村支援農業会議に出席するよう招待を受けました。この出来事が私たちのムンブワへの進出のきっかけになるとは、彼女は全く予想していませんでした。この会議で、メシーはムンブワ区女性協会の会長クレア・ムクパさんと会う機会に恵まれた。



メシーとクレアの間で会話が進み、それぞれの地域で行われているプロジェクトや取り組みについて詳しく語り合った。このやりとりの中で、クレアは自然農法の変革力についてのメシーの話に魅了され、これが彼女の協会が会員たちにさらに力を与えるために着手する必要がある道であると確信するようになった。

続いて、アラン今井氏がムンブワ区女性協会本部を訪問した。そこで彼は会員たちから温かく親切な歓迎を受けた。ムンブワ協会は、革新的な野菜および作物の乾燥方法に重点を置き、その驚くべき努力と粘り強さを示していた。



私たちは、ムンブワ地区女性協会との協力活動の始まりとなる農繁期を心待ちにしている。彼らに在来の種子を提供するので、このパートナーシップによって豊かな収穫がもたらされるだけでなく、ムンブワの女性たちが自然農法の原則を通じて繁栄する力を得ることができると確信しています。



「ザンビア・東部地方、シンダ村の魅力を探る」

永遠の驚異の国であるザンビアは、言語、文化、人々の豊かなタペストリーに驚かされ続けている。最近、私たちはザンビア東部にある絵のように美しいシンダ村への旅に出発しました。この趣のある村は、前年に自然農法トレーニングチームから指導を受け、自然農法拡大計画の新たな展開が始まった。

ザンビア東部は、雄大な山々、緑豊かな森林、風味豊かなマンゴーや有名なチャリバナピーナッツが豊富にある自然美の宝庫です。私たちの目的地は、シンダ区の中心部に位置する人口500人から700人の村の中で組織されているシンダ女性農民組合でした。

今回の訪問中、アラン今井氏と私は、この素晴らしいグループに温かく迎えられた。彼女等は単なる隣人であるだけでなく、小規模の養鶏プロジェクトというユニークな事業のパートナーでもあります。彼女たちは力を合わせ、知恵を出し合い、資金を出し合って、コミュニティ・ホールを建設していた。鶏の飼育スペースとしてだけでなく、組合の集会や倉庫としても利用できる多目的施設です。

この小さなグループの決意と賞賛に値する精神は、本当に感動的でした。彼らは自然農法の実践をさらに拡大する準備ができており、熱心に取り組んでいます。これからの栽培シーズンに向けて、私たちはこの注目すべきグループの進捗状況についてさらに多くのストーリーを共有できることを楽しみにしています。私たちは、シンダで展開される自然農法の始まりを目撃し、このコミュニティの献身がどのように豊かな恵をもたらすかを楽しみにしています。



結論として、ザンビア東部地方シンダ村への私たちの訪問は忘れられない経験となった。ザンビアの多様な風景の美しさと人々の揺るぎない精神を再確認した。私たちは、シンダの献身的なパートナーがコミュニティで自然農法の未来を開拓するとともに、この旅を続けることを楽しみにしています。